



題名:コーチングにおける視覚情報・聴覚情報

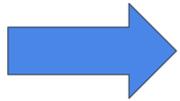
発表者氏名:石渡翔斗、伊藤彪流

背景・目的

・動作を指示されたときに、思うように体を動かすことができなかった経験。



・視覚情報と聴覚情報のどちらを優先するかによって結果が変わるのでは？



伝え方に着目

効率的な動作の指示方法を知ることができればコーチングに役立ち、技術の上達につながると考えたから。

すでに分かっていること

・人は視覚よりも聴覚からより多くの情報を得ている。

・男子は**視覚優位**で生活、女子は**聴覚優位**で生活している。

仮説

視覚、聴覚での説明方法の違いは運動への結びつけやすさに影響する。また、男子は視覚優位で女子は聴覚優位で生活しているということも関わっている。

研究の方法

はじめに被験者にラグビーボールを2球投げてもらおう。その際、できるだけ条件を揃えるために指定された投げ方で投げてもらおう。

次にボールの持ち方の説明を受け、持ち方以外の条件は変えないこととし、3球練習してもらおう。その後2球計測をする。説明を受ける前と後の飛距離の結果をもとに伸び率を求める。

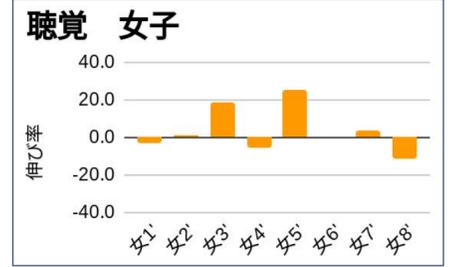
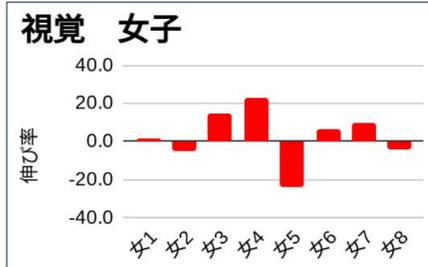
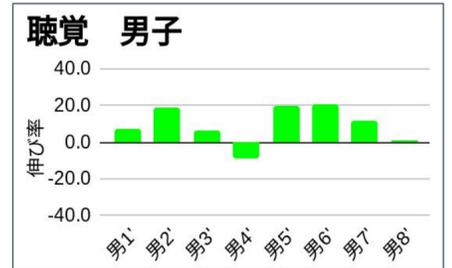
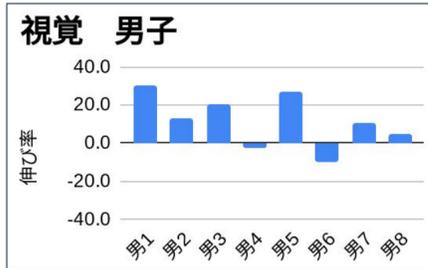
説明方法

音声を聞く:男8 女8

文章を読む:男8 女8

文章・音声同時:男8 女8

結果



伸び率平均

	視覚	聴覚	両方
男子	11.8	9.6	12
女子	2.8	3.5	6.2

結論

・男子は視覚が聴覚の1.2倍、女子は聴覚が視覚の1.25倍となった。

・男女どちらも視覚・聴覚同時の伸び率が最も高かった。

・男子と女子の伸び率には差が見られた。

考察

・男子は視覚、女子は聴覚での説明が効果的であると考えられる。

・男子のほうが女子よりも伸びやすいと考えられる。

今後の展望

・被験者を増やし、データの信憑性を高める。

・コーチングでの説明方法に活用する。

参考文献

大阪教育大学附属

天王寺中学校

視覚からの情報と聴覚からの情報ではどちらの方がより印象に残るのか

<https://f.osaka-kyoiku.ac.jp/tennoji-j/wp-content/uploads/sites/4/2020/09/38-06.pdf>

参照日2023年5月10日

【視覚情報】情報の伝わりやすさと視覚の関係について調べてみた件
北野敬士

<https://quartet-communications.com/info/topics/42776>

参照日2023年5月10日